



どろと まにわ 真庭

まちの話題

2月1日、300年以上の歴史を持つ北房ぶりが皆部商店街一帯で開催され、約2万人が訪れました。当時のしきたりに倣い、伊勢亀山藩からの「ぶり市許可伝達式」で市がスタート。歩行者天国となった会場には、ぶり小屋が設置され、観光客らは、目の前で豪快にさばかれるブリにカメラを構えるなどしていました。当日は約150匹のブリのほか、ブリの雑煮や井なども販売され、訪れた観光客らの目と舌を楽しませていました。

代官が許可状を読み上げぶり市がスタート



豪快にブリをさばく職人



行く人の目を楽しませた餅つき

**工夫の一品で活性化を
パステリカまにわプロジェクト**

1月31日、真庭高校食品科学科の2、3年生の有志8人が、久世の商店街に模擬店を出し、商品販売を通して経営や活性化について学びました。模擬店では独自開発した「イノシシラーめん」を販売。イノシシ肉を使った醤油のスープとチャーシューーが特徴で約60食を完売しました。市民団体「まにわツッショイ」との連携で昨年11月から進めてきたプロジェクトで、当日は地域の人らが訪れ、工夫の一品を味わいました。



イノシシラーめんを提供する高校生



かまくらキャンドルを撮影する観光客

**雪原を染めるやさしい光
ひるぜん雪恋まつり**

1月31日と2月1日の2日間、蒜山高原白樺の丘を会場に、ひるぜん雪恋まつりが開催されました。会場には秋田県横手市直伝のかまくら（高さ約3尺、直径約3・5尺）6基が作られ、訪れた観光客らは中に入ったり、記念写真を撮ったりしていました。また、来場者の協力で約1200基のミニかまくらを作成。夜には、そのかまくらの中に灯がともされ、会場がやさしいオレンジの光に染まっていました。

1/24 親子で楽しく雪遊び

中和冬山アドベンチャーが1月24～25日の2日間にわたり、津黒いきものふれあいの里で開催されました。岡山市などから7組の親子連れが参加。雪合戦や雪のキャンドル作りなどを親子で満喫しました。



1/30 考えよう山焼きの意味と価値

蒜山で山焼きをしている人たちの交流会が、川上コミュニティセンターで初開催されました。参加者は、山焼きが文化的な景観であるという講演を聞いたり、その歴史や現状について話し合ったりしました。



2/3 先を見据えた経営力について学ぶ

市役所本庁舎で、経営力向上セミナーが開かれました。市内の若手経営者ら40人が参加。講師の両備ホールディングス株式会社の松田敏之副社長から、先を見据えた経営力などについて学びました。



2/7 33人が盤上で熱戦繰り広げる

真庭いきいきテレビ主催の将棋大会が、久世エスパスセンターで開かれました。伊藤明日香女流初段を審判長に招き、小中学生の部、一般の部、有段者の部の3部門で参加者が棋力を競い合いました。



2/16 春の香りに包まれて

真庭市落合梅花展が、2月16～18日まで落合ショッピングセンターサンプラザで開かれました。会場には150鉢の梅が並び、買い物客らは色とりどりに咲いた梅の花を眺め一足早い春の訪れを感じていました。



狂言の基本動作を学ぶ参加者

2月8日、勝山文化往来館ひしおで、狂言つてなあに？が開かれました。狂言師の指導による基本動作を学ぶワークショップに15人が参加。姿勢、歩き方、笑い方、泣き方などを学びました。初めて狂言を体験する参加者は最初は戸惑いながらも、次第に緊張も解け、楽しんで指導を受けていました。狂言の演目が演じられることもあって会場は満席となり、狂言師の独特な言い回しや動作に会場は笑いに包まれました。

狂言の魅力を堪能
狂言つてなあに？



歯を食いしばりながら雪上を駆ける参加者

「雪上のマラソン」と呼ばれるクロスカントリースキーの大会、「蒜山バサレース大会」が、2月11日に開かれました。真庭市内などから集まった約50人の参加者は、蒜山三座を望む三木ヶ原スノーパークの起伏に富んだ1周1・2kmのコースを、年齢や性別などの部門ごとに1周から7周回ってタイムを競いました。歯を食いしばりながら板を前に進める参加者に、家族らから温かい声援が送られていました。

白銀の高原駆け抜ける
蒜山バサレース大会

夜桜めぐりは いかが？

夜の明かりに照らされる桜は幻想的で
昼とは違った姿を見せてくれます。
山あいの夜空に浮かび上がる桜、
川面に映し出される桜、
この春、真庭で夜桜めぐりは
いかがでしょうか。

☎ 商工観光課 TEL7-42-1033

久世トンネル桜

見頃: 4月上旬～中旬
点灯: 開花期間中
[18:30～22:00]



茅部神社桜並木

見頃: 4月下旬
点灯: 開花期間中
[19:00～22:00]



美甘宿場桜

見頃: 4月中旬～下旬
点灯: 開花期間中
[19:00～22:00]



岩井畝の大桜

見頃: 4月上旬
点灯: 開花期間中
[日没～22:00]



醍醐桜

見頃: 4月上旬
点灯: 開花期間中
[日没～21:00]

※見頃(開花時期など)はその年によって前後しますので詳しくはお問い合わせください。



中津井雛の文化まつり

とき: 3月28日(土)、29日(日) ところ: なかつい陣屋周辺

約40件の民家の軒先に、雛人形をはじめ地元文化協会による俳句や文芸作品などが飾られます。また、午後1時から、江戸時代末期の嫁入りを再現した「輿(こし)入れ道中」が行われます。

☎ なかつい陣屋 TEL0866-52-5001

水田小学校で行われた、消費生活センター出前講座の取材での出来事。インターネットの危険性など子どもたちが一生懸命勉強しているところを取材。取材を終えて帰ろうとすると、「あの、誰かに似てるって言われませんか？」と男の子。「誰に似てる？」と聞くと、「某お笑い芸人」と答えが返ってきました。インターネットには「気をつけなはれや!!」

横山

4月からの木質バイオマス発電の稼働に向け、10月からシリーズとして組合や事業所の取り組みを紹介をさせていただきましたが、今回がシリーズ最終回です。建築用の木材としては価値がなかったため、利用がほとんどなかった端材や枝葉。こうした未利用木が取引される仕組みが出来たことは地域の資源を活用する大きな変化だったのだと思います。

小山

25年前、自分の今の姿を想像していたかなあ。体型のことではありません。生き方のことです。まさか真庭で暮らしているとは...市外出身なので想像だにしていまませんでした。そう考えると、これから先の25年も、意外なドラマが待っているんだろうなあって思います。真庭市の総合計画ができました。多彩な真庭。生き方の選択枝もいっぱいありそうです。江崎

まにわのスキッ!!
編集後記